

(様式 1-3)

福島県楡葉町帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 29 年 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	29	事業名	農山村地域復興基盤総合整備事業 (農業水利施設等保全再生事業) 楡葉地区(基金型)	事業番号	(5)-40-4
交付団体		楡葉町	事業実施主体(直接/間接)	楡葉町(直接)	
総交付対象事業費		185,211(千円)	全体事業費	185,211(千円)	
帰還環境整備に関する目標					
<p>福島第一原子力発電所の事故による災害以前は、非かんがい期にため池を干し上げ、堆積した土砂を除去するなどの利水管理を行っていたが、同災害後は、堆積土に含まれる放射性物質の影響により土砂上げができず、利水管理が困難な状態続いており堆積している汚染土砂の流失が懸念される。</p> <p>農業用水利としてのため池機能を保全し、また、堆積している汚染土砂の農地への拡散等を防ぐためには、放射性物質に汚染された土砂の除去をはじめ、拡散を防止するための対策を講じる必要がある。</p> <p>よって、本事業を推進することにより、農業用水利としての機能の保全・回復を行い、避難地域の被災農家を含めた地域住民の帰還促進と営農再開を図っていく必要がある。</p> <p>なお、今回申請するため池は、除染の対象とならないことを確認した(技術マニュアル P26 の 3 要件に該当しない)</p>					
事業概要					
<p>上記目標を達成するため、農業用水利施設を対象として水質・底質の汚染状況を把握するための調査及び、ため池内の汚染分布を把握するための詳細モニタリング結果に基づき、ため池ごとに必要な対策を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 詳細モニタリング (H27 年度)2. 対策工の検討・設計 (H28~29 年度)<ol style="list-style-type: none">(1) ため池の基本情報整理(2) 放射性物質の影響評価(現場踏査~空間線量測定~水質調査~底質調査)(3) 対策工必要性及び対策工の検討(排出土処理の見当も含む)3. 対策推進計画策定 (H28 年度)4. 対策工事 (H29 年度~) <p>【参照】「楡葉町復興計画〈第二次〉第二版」の「第三章 復興の進め方 (3) 農林水産業の再生と新たな展開 ③ 農地の復旧と保全、農業の再生」を参照。</p>					
当面の事業概要					
<p>< 27 年度 > ※単年度型事業</p> <p>個々のため池の水質・底質の汚染状況を把握するための基礎調査を行い、さらに汚染濃度が高いため池については、ため池内の底質の汚染濃度分布を把握するための詳細調査を行った。</p> <p>・ 詳細調査 12 箇所 33,420 千円</p> <p>< 28 年度 > ※単年度型事業</p> <p>前年度の調査結果を踏まえ、ため池毎に必要な対策を検討するとともに、町内ため池の総合的な対策推進計画を策定。昨年度に詳細調査を実施した 12 箇所のうち、営農再開予定地区のため池 7 箇所を対象に放射性物質対策工事に係る実施設計・測量を実施。</p>					

<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計 7箇所 20,000千円 <p><29年度>※基金型事業</p> <p>平成27年度に実施した詳細調査で、高濃度汚染(8,000 Bq/kg-Dry 超)が確認できたため池10箇所の内、平成28年度に実施設計の終了した7箇所の対策工事と3箇所の実施設計を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計費 7,960千円 (今回申請) ・対策工事費 172,061千円 (今回申請) ・施工監理 5,190千円 (今回申請) <p>なお、今回の申請で実施設計を進める3箇所のため池については、設計が完了次第、対策工事に着手する。※次回以降の申請</p>
地域の帰還環境整備との関係
<p>町内の営農再開促進・農業復興の加速化には、地域営農にとって重要な水源施設であるため池の機能保全が必要であり、このためには放射性物質を含む堆積土砂の除去等による利用や維持管理上の支障を低減させることが不可欠であることから、再生加速化の目的達成に向け、本事業の導入による対策実施が必要である。</p>
関連する事業の概要
<p>特になし</p>

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	